

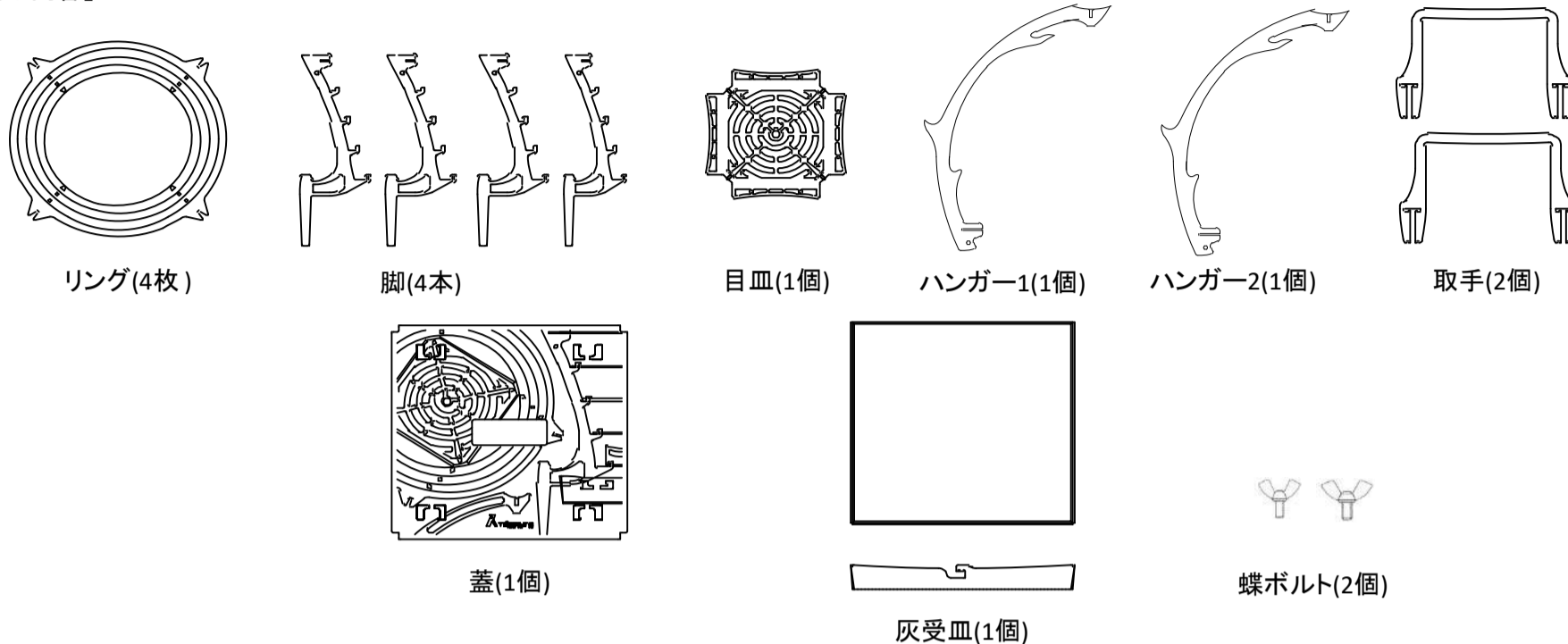
# 取扱説明

GURUGURU FIREシリーズ

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくために、ご使用前に本取扱書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■製品改良のため、外観および仕様、価格等を予告なく変更する場合があります。

## 【セット内容】



## 【仕様】

	XS(GGF-1101)	S(GGF-1201)	M(GGF-1301)
材質	鉄	鉄	鉄
組立サイズ(約)	幅220x奥行220x高さ342mm	幅220x奥行220x高さ340mm	幅410x奥行410x高さ673mm
収納サイズ(約)	幅175x奥行175x厚さ22mm	幅265x奥行265x厚さ30mm	幅350x奥行350x厚さ43mm
重量(約)	1.3kg	3.4kg	7kg
耐荷重(約)	3kg	5kg	10kg
推奨薪サイズ	小枝	小枝、薪20-30cm	30-35kg

## 【取扱い上の注意】

▲【警告】誤った取扱いをすると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

- ×開封後、使用前には必ずパーツ類の不足や破損等がないか確認してください。見つかった場合は使用しないでください。
- ×屋内やテント内・換気の悪い所で使用しないでください。火災や火傷・酸欠や一酸化炭素中毒の恐れがあります。
- ×焚火中は周囲の燃えやすい物(テント・タープ)などの燃え移りに注意してください。火災や火傷の恐れがあります。
- ×ガソリン・灯油・アルコール等を燃料や着火剤として使用しないでください。火災や火傷の恐れがあります。
- ×使用中は、周囲に可燃物(紙・プラスチック等)や引火物(スプレー缶)を置いたり近づけないでください。火災や火傷の恐れがあります。

▲【注意】誤った取扱いをすると負傷または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示します。

- ×火気の使用や取扱いが禁止されている場所では、絶対に使用しないでください。
- ×傾斜がある所や不安定な場所では使用しないでください。焚火台が傾き転倒する場合があります。
- ×焚火台の組立や分解、着火、消火など取扱い時には必ず軍手や手袋を着用してください。
- ×燃料の取扱いには必ず火ばさみ等を使用してください。
- ×火の粉や灰が飛ぶ恐れがありますので、強風・悪天候など危険な天候の時には使用しないでください。
- ×使用中はその場を離れず、周囲の安全や身の回りの安全を確認して使用してください。
- ×パーツに無理な力や衝撃を加えたり、加工を加えて使用しないでください。

## ■使用前の注意

- ・製造過程で新品の製品に細かなキズ等が付く場合があります。品質上は問題ありませんのでそのままご使用ください。
- ・本製品は焚火台として設計されています。目的以外の用途での使用はしないでください。
- ・火気を扱う製品のため、使用前には必ず非常消火用の水を常備してください。
- ・取扱説明書の組立順序に従って組み立ててください。

## ■使用後の注意

- ・使用直後は本体に触れず、完全に冷えてから灰等の処理・撤去作業を行ってください。
- ・使用後は汚れを落とし、完全に乾燥させてください。
- ・破損や変形の恐れがあります。焚火直後に水をかけるなどの急冷は避けてください。

## ■保管上の注意

- ・金属という素材は堅くて強い一面、年月と共に変色する性質があります。使用に伴い、自然に変色していきます。使い込んでいただくことで、素材特有の変化をお楽しみください。
- ・鉄製品のため錆が生じることがあります。保管の際には水気を取り除き乾燥した状態で保管をしてください。



MAIL:products-info@tripath.co.jp

【組立方法】



①箱から焚火台本体を取り出す



②部品がすべて入っていること・破損等がないことを確認する



③脚4本を、一番大きい枠にはめ、目皿を一番下の突起にはめる。



④残りのリングをはめたら、焚火台本体を持ち上げ、灰受皿を下に置く。



⑤脚に突起をひっかける(4箇所)



⑥ハンガー1とハンガー2の先端を組み合わせる



⑦一番上の枠にハンガーをそれぞれはめて、付属のボルトで留める  
本体完成



⑧蓋に取手を差し込み自立させる(2個)  
薪置き完成



完成後設置例